

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**



THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re patent application of

Takeshi Azani

Serial No. 10/029,169

Group Art Unit: 2166

Filed: 12/28/01

Examiner: not assigned

For: Publicly Inviting System for Group Tour

Commissioner of Patents
Box 1450
Alexandria, VA 22131-1450

RECEIVED

APR 08 2004

Technology Center 2100

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of Japanese Patent Application Number 2000-403370, dated 12/28/00 upon which application the claim for priority is based in the above-identified patent application.

Respectfully submitted,

C. Lamont Whitham
Registration No. 22,424

Date: April 7, 2004
Whitham, Curtis & Christofferson, PC
11491 Sunset Hills Road - #340
Reston, VA 201900
703/787-9400
Customer No. 30743

RECEIVED
APR 08 2004

GROUP 3600

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年12月28日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-403370

出 願 人

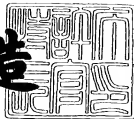
Applicant(s):

日本電気株式会社

2001年 8月31日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3077851

【書類名】 特許願

【整理番号】 34103534

【提出日】 平成12年12月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

【氏名】 蒔 丈史

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100099830

【弁理士】

【氏名又は名称】 西村 征生

【電話番号】 048-825-8201

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 038106

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9407736

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 団体旅行公募システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットのサイト（以下、ネットサイトと略す）上に、旅行希望者がその希望する旅行先を登録するプロセスと、前記ネットサイト上にある同一の旅行先への複数の旅行希望者をとりまとめ一時的な団体旅行コミュニティを形成するプロセスと、前記団体旅行を旅行業者が請け負うプロセスとを含むことを特徴とする団体旅行公募システム。

【請求項2】 ネットサイト上に、旅行希望者がその希望する旅行計画を登録するプロセスと、前記ネットサイト上にある複数の旅行計画を集約するプロセスと、該集約された旅行計画に基づく一時的な団体旅行コミュニティを形成するプロセスと、前記団体旅行を旅行業者が請け負うプロセスとを含むことを特徴とする団体旅行公募システム。

【請求項3】 前記各個人の旅行計画には、旅行目的地、経由地、宿泊地、旅行期間、日程、参加者の年齢層、参加者の趣味、旅行目的、交通手段、希望人数等の、各個人が旅行に対して求める要件の一部又は全部を含むことを特徴とする請求項2記載の団体旅行公募システム。

【請求項4】 前記複数の旅行計画の集約が、前記複数の旅行計画から最大公約数的にアレンジすることによって行われることを特徴とする請求項2又は3記載の団体旅行公募システム。

【請求項5】 前記ネットサイト上に旅行先又は旅行計画を登録する者は、前記団体旅行公募システムの運営者に所定の登録料を支払うことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一記載の団体旅行公募システム。

【請求項6】 前記旅行先又は集約された旅行計画に対する団体旅行業務に応募する旅行業者は、前記団体旅行公募システムの運営者に所定の登録料を支払うことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか一記載の団体旅行公募システム。

【請求項7】 前記団体旅行コミュニティの団体旅行が実施されたとき、該団体旅行の参加者及び／又は該団体旅行業務を実行する旅行業者は、前記団体旅行公募システムの運営者に所定の成約料を支払うことを特徴とする請求項1乃至

6のいずれか一記載の団体旅行公募システム。

【請求項8】 前記団体旅行の参加者と前記旅行業者との間にインターネット上で団体旅行契約が成立し、前記旅行業者から前記団体旅行の参加者に対して運賃、宿泊費等の団体旅行割引の特典が与えられることを特徴とする請求項1乃至7のいずれか一記載の団体旅行公募システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、インターネット上のサイトに、旅行先や旅行計画ごとに旅行希望者を公募して団体旅行コミュニティを形成することによって、より低廉で自由度の高い団体旅行を実現できるようにするための団体旅行公募システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の団体旅行の形態としては、旅行業者が企画した団体旅行に対して、広告等によってこれを知った個人が、旅行業者又はその代理店に参加の申し込みを行い、これに対して、旅行業者側でこれを取りまとめて、所定数の参加者があったとき、旅行業者が、企画に沿って参加者による団体旅行を実施するというのが一般的であった。

従って、この場合の旅行参加者は、既に形成されている団体旅行グループのメンバーである場合も、あるいは未知の人のグループである場合も、いずれにしても、旅行業者の企画が予め決まっていて、例えば複数の企画の中から、自分の希望に合致したものを選択した旅行希望者によってグループが形成されて、そのグループによって、旅行業者の計画に従って旅行が行われるという形式がとられていた。

【0003】

また、団体旅行参加の申し込みは、通常は、旅行業者又は代理店の店頭に赴いて申し込みをするか、あるいは電話による申し込みを行うのが普通であって、インターネットを利用する申し込みは、航空券の予約等は可能であるが、団体旅行の参加申し込みは不可能であった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このように、従来の団体旅行では、参加者がどのような人であるか、どのような年代層であるかというようなことは、旅行に参加するまでは不明であり、旅行に出かけてみて始めてわかるというのが普通であった。

そのため、旅行者同士親しみが湧かなかったり、あるいは、親近感が生じるようになるまでには、ある程度、時間がかかることがあるという問題があった。

さらに、折角申し込みをしても、参加者が足りないために、旅行企画が成立せず、そのため期待外れに終わる場合もあり、また、個人での参加ができない場合もあった。

【0005】

この発明は、上述の事情に鑑みてなされたものであって、インターネット上のサイトに希望する旅行先や旅行計画を登録することによって、旅行先や旅行計画が共通な複数の人が、一時的な団体旅行コミュニティを形成して旅行することができるようにし、従って、従来のように旅行者の旅行企画を利用する場合の不都合を解消することが可能な、団体旅行公募システムを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1記載の発明は、団体旅行公募システムに係り、インターネットのサイト（ネットサイト）上に、旅行希望者がその希望する旅行先を登録するプロセスと、上記ネットサイト上にある同一の旅行先への旅行希望者をとりまとめて一時的な団体旅行コミュニティを形成するプロセスと、上記団体旅行を旅行者が請け負うプロセスとを含むことを特徴としている。

【0007】

また、請求項2記載の発明は、団体旅行公募システムに係り、ネットサイト上に、旅行希望者がその希望する旅行計画を登録するプロセスと、上記ネットサイト上にある複数の旅行計画を集約するプロセスと、該集約された旅行計画に基づく一時的な団体旅行コミュニティを形成するプロセスと、上記団体旅行を旅行業

者が請け負うプロセスとを含むことを特徴としている。

【 0 0 0 8 】

また、請求項 3 記載の発明は、請求項 2 記載の団体旅行公募システムに係り、上記各個人の旅行計画には、旅行目的地、経由地、宿泊地、旅行期間、日程、参加者の年齢層、参加者の趣味、旅行目的、交通手段、希望人数等の、各個人が旅行に対して求める要件の一部又は全部を含むことを特徴としている。

【 0 0 0 9 】

また、請求項 4 記載の発明は、請求項 2 又は 3 記載の団体旅行公募システムに係り、上記複数の旅行計画の集約が、前記複数の旅行計画から最大公約数的にアレンジすることによって行われることを特徴としている。

【 0 0 1 0 】

また、請求項 5 記載の発明は、請求項 1 乃至 4 のいずれか一記載の団体旅行公募システムに係り、上記ネットサイト上に旅行先又は旅行計画を登録する者は、上記団体旅行公募システムの運営者に所定の登録料を支払うことを特徴としている。

【 0 0 1 1 】

また、請求項 6 記載の発明は、請求項 1 乃至 5 のいずれか一記載の団体旅行公募システムに係り、上記旅行先又は集約された旅行計画に対する団体旅行業務に応募する旅行業者は、上記団体旅行公募システムの運営者に所定の登録料を支払うことを特徴としている。

【 0 0 1 2 】

また、請求項 7 記載の発明は、請求項 1 乃至 6 のいずれか一記載の団体旅行公募システムに係り、上記団体旅行コミュニティの団体旅行が実施されたとき、該団体旅行の参加者及び／又は該団体旅行業務を実行する旅行業者は、上記団体旅行公募システムの運営者に所定の成約料を支払うことを特徴としている。

【 0 0 1 3 】

また、請求項 8 記載の発明は、請求項 1 乃至 7 のいずれか一記載の団体旅行公募システムに係り、上記団体旅行の参加者と前記旅行業者との間にインターネット上で団体旅行契約が成立し、上記旅行業者から上記団体旅行の参加者に対して

運賃、宿泊費等の団体旅行割引の特典が与えられることを特徴としている。

【0014】

【作用】

この発明の構成では、団体旅行公募システムの運営者が、ホームページ開設端末2から開設した、インターネット上のホームページに、ユーザ端末3における旅行希望者が、希望する旅行先を登録することによって、共通の旅行先に対応する団体旅行を行うための団体旅行コミュニティを形成し、この団体旅行業務に応募した旅行者端末4における旅行者が、この旅行先に対する旅行業務を請け負うことによって団体旅行を実現するので、従来の旅行者の旅行企画を利用した団体旅行の場合と比べて、より低廉な団体旅行を実現することができる。

【0015】

この発明の別の構成では、団体旅行公募システムの運営者が、ホームページ開設端末2から開設した、インターネット上のホームページに、ユーザ端末3における旅行希望者が、希望する旅行計画を登録することによって、ホームページ上にある複数の旅行計画から例えば最大公約数的にアレンジされた旅行計画に対応する団体旅行を行うための団体旅行コミュニティを形成し、この団体旅行業務に応募した旅行者端末4における旅行者が、アレンジされた旅行計画に基づく旅行業務を請け負うことによって団体旅行を実現するので、従来の旅行者の旅行企画を利用した団体旅行の場合と比べて、より低廉で自由度の高い団体旅行を実現することができる。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、この発明の実施の形態について説明する。説明は、実施例を用いて具体的にを行う。

◇第1実施例

図1は、この発明の第1実施例である団体旅行公募システムの構成を示すブロック図、図2は、本実施例の団体旅行公募システムによる団体旅行実現のプロセスを示すフローチャートである。

【0017】

この例の団体旅行公募システムは、図1に示すように、インターネット1に対して、ホームページ開設端末2と、ユーザ端末3と、旅行業者端末4と、航空機会社端末5と、ホテル・旅館端末6と、鉄道会社端末7と、バス会社端末8と、その他旅行関連産業端末9とを接続してなる概略構成を有している。

インターネット1は、ネットワークを介して複数の端末間を相互に接続する。ホームページ開設端末2は、団体旅行公募システムの運営者の端末であって、団体旅行公募システムの運営者は、この端末からインターネット1上のサイトに、団体旅行公募ホームページを開設する。ユーザ端末3は、団体旅行を希望するユーザの端末であって、ユーザは、この端末から団体旅行公募ホームページにアクセスして、希望する旅行先を登録する。旅行業者端末4は、旅行業者の端末であって、旅行業者は、この端末から、団体旅行業務の請け負い希望を登録する。航空機会社端末5は、航空機会社の端末であって、航空機会社は、この端末から旅行業者からの引き合いに応じて、航空運賃を提示する。ホテル・旅館端末6は、ホテル又は旅館の端末であって、ホテル又は旅館は、この端末から旅行業者からの引き合いに応じて、宿泊料を提示する。鉄道会社端末7は、鉄道会社の端末であって、鉄道会社は、この端末から旅行業者からの引き合いに応じて、鉄道運賃を提示する。バス会社端末8は、バス会社の端末であって、バス会社は、この端末から旅行業者からの引き合いに応じて、バス運賃を提示する。その他旅行関連産業端末9は、その他旅行関連産業業者の端末であって、その他旅行関連産業業者は、この端末から旅行業者からの引き合いに応じて、例えばガイド料、施設の入場料や利用料、団体旅行保険料等を提示する。

【0018】

次に、図1、図2を参照して、この例の団体旅行公募システムによる団体旅行実現のプロセスを説明する。

団体旅行公募システムの運営者は、ホームページ開設端末2から、インターネット1のウェブ上に、団体旅行公募システムのホームページを開設する（図2ステップS1）。このホームページを見た団体旅行希望者は、それぞれのユーザ端末3から、団体旅行公募システムのホームページにアクセスして、各人の希望する旅行先を、団体旅行公募システムのホームページ上に登録する（図2ステップ

S2)。

団体旅行公募システムの運営者は、登録された複数の旅行先ごとにとりまとめを行って、ある旅行先への希望者が一定数に達したとき(図2ステップS3)、共通の希望旅行先を持つ者による限定期間の共同体(コミュニティ)を、ウェブ上で形成する(図2ステップS4)。

【0019】

一方、旅行者端末4の旅行者は、団体旅行公募システムのホームページによって団体旅行コミュニティの成立を知ったとき、ホームページの内容に応じて、その旅行計画案を実現するために必要な諸条件を検討する。例えば、航空機会社端末5にアクセスして、航空運賃の見積もりを求め、ホテル・旅館端末6にアクセスして、宿泊料の見積もりを求め、鉄道会社端末7にアクセスして、鉄道運賃の見積もりを求め、バス会社端末8にアクセスして、バス運賃の見積もりを求め、その他旅行関連産業端末9にアクセスして、ガイド料、施設の入場料や利用料、団体旅行保険料等の見積もりを求める。そして、これらの見積もり額をもとに、旅行費用を算出して、団体旅行の実行計画案とともに、団体旅行公募システムのホームページ上に提案する(図2ステップS5)。

【0020】

そして、複数の旅行者から旅行費用等の提案があったとき、団体旅行公募システムの運営者は、そのうちから選定した最適な旅行者を、旅行業務請け負い先として決定する(図2ステップS6)。決定した旅行者は、ホームページ上に公表される。旅行者の選定は、通常は最も低廉な旅行費用を提案したものが選ばれるが、それ以外の条件を勘案しなければならない場合もある。

その後、請け負い先として決定した旅行者は、参加者に対して設定されている旅行先への団体旅行業務を実行する(図2ステップS7)。そして団体旅行が終了したとき、団体旅行公募システムの運営者は、ウェブ上の団体旅行コミュニティを解散する(図2ステップS8)。

【0021】

このように、この例の団体旅行公募システムによれば、家庭や職場のパソコンや、携帯端末から、インターネットのウェブ上において、各個人が旅行先ごとに

登録して、共同体（団体旅行コミュニティ）を形成することによって、多様な旅行先の希望に対応して、低廉で自由度の高い団体旅行を実現することができる。

【0022】

◇第2実施例

図3は、この発明の第2実施例である団体旅行公募システムによる団体旅行実現のプロセスを示すフローチャートである。

この例において、インターネット1、ホームページ開設端末2、ユーザ端末3、旅行業者端末4、航空機会社端末5、ホテル・旅館端末6、鉄道会社端末7、バス会社端末8及びその他旅行関連産業端末9とからなる概略構成は、第1実施例の場合と同様であるが、ユーザ端末3において、団体旅行を希望するユーザが、希望する旅行計画を登録する点が異なっている。この旅行計画には、各個人の旅行目的地、経由地、宿泊地、ツアーの期間、日程、年齢層、趣味、旅行目的、交通手段、希望人数等、各個人がそれぞれ旅行に求める要件を含むものとする。

【0023】

次に、図3を参照して、この例の団体旅行公募システムによる団体旅行実現のプロセスを説明する。

団体旅行公募システムの運営者は、ホームページ開設端末2から、インターネット1のウェブ上に、団体旅行公募システムのホームページを開設する（図3ステップS11）。このホームページを見た団体旅行希望者は、それぞれのユーザ端末3から、団体旅行公募システムのホームページにアクセスして、各人の希望する旅行計画を、団体旅行公募システムのホームページ上に登録する（図3ステップS12）。

団体旅行公募システムの運営者は、登録された複数の旅行計画を調整して、複数の旅行計画の最大公約数的な計画案をアレンジすることによって集約して（図3ステップS13）、ホームページ上に公表する。この際の旅行計画のアレンジは、ソフトウェアによって行ってもよい。また、集約の方法は、単純に最大公約数的にアレンジする場合に限らず、旅行計画を構成する各要件にそれぞれ異なる比重を付して集約してもよい。

アレンジされた旅行計画への参加希望者が一定数に達したとき（図3ステップ

S14)、共通の旅行計画を持つ者による限定期間の共同体(コミュニティ)を、ウェブ上で形成する(図3ステップS15)。

【0024】

以後、成立した団体旅行コミュニティの旅行計画案に対して、旅行者が旅行費用を算出して、団体旅行の詳細な実行案とともに団体旅行公募システムのホームページ上に提案することによって応募し(図3ステップS16)、複数の旅行者の応募があったとき、団体旅行公募システムの運営者が、そのうちから、最適な旅行者を、旅行業務請け負い先として決定し(図3ステップS17)、決定した旅行者が提案した計画案に従って団体旅行業務を実行し(図3ステップS18)、そして団体旅行が終了したとき、ウェブ上の団体旅行コミュニティを解散する(図3ステップS19)ことは、第1実施例の場合と同様である。

【0025】

このように、この例の団体旅行公募システムによれば、家庭や職場のパソコンや、携帯端末から、インターネットのウェブ上において、各個人が旅行計画ごとに登録して、共同体(団体旅行コミュニティ)を形成することによって、多様な旅行計画の希望に対応して、低廉で自由度の高い団体旅行を実現することができる。

【0026】

以上説明した、この発明の団体旅行公募システムでは、インターネットのホームページ上で団体旅行契約が成立するので、航空運賃、宿泊料、鉄道運賃、バス運賃、ガイド料、施設の入場料や利用料、団体旅行保険料等に団体割引の特典を受けることができ、従ってそれらの金額を低減してツアーコストを引き下げることができる。

このシステムを利用して旅行先や旅行計画を登録する者は、ホームページを開設した団体旅行公募システムの運営者に、所定の登録料を支払うとともに、ホームページ上に成立した団体旅行コミュニティの団体旅行計画を請け負う旅行者も、団体旅行公募システムの運営者に、所定の登録料を支払うものとする。

また、団体旅行が成立した場合には、旅行参加者及び旅行者の双方又は一方(通常は、旅行者)から、団体旅行公募システムの運営者に所定の成約料を支

払うものとする。

【0027】

このような団体旅行の例としては、例えば、各種学会等が開催されたとき、参加する教員、研究者、学生等が、学会の開催期間を対象とする団体旅行を、本実施例の団体旅行公募システムによって、インターネットのホームページ上で参加者を募集して形成した団体旅行コミュニティによって、実施する場合の例を挙げることができる。

【0028】

以上、この発明の実施例を図面により詳述してきたが、具体的な構成はこの実施例に限られたものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更等があってもこの発明に含まれる。例えば、第1実施例の場合に、ツアーの期間、日程、年代層、趣味、旅行目的等に合わせて、同一の団体旅行コミュニティによって、複数の団体旅行を計画して、ウェブ上で、各個人が別々に、ツアー参加を決定し、参加希望者が一定数に達するごとに、団体旅行を実施するようにしてもよい。また、第2実施例の場合に、各個人の旅行計画をアレンジして団体旅行計画を作成する際に、公約数的に少しずつ異なる複数の旅行計画を作成して、同一の団体旅行コミュニティによって、それぞれの旅行計画ごとに、参加希望者が一定数に達するごとに、団体旅行を実施するようにしてもよい。なお、この発明では、サービス提供対象を団体旅行としたが、これに限るものではなく、任意の商品の購入や、観劇、音楽会の参加等の場合に、購買（参加）者数を増やすことによって、価格や費用の引き下げを図る場合にも適用することが可能である。

【0029】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明の団体旅行公募システムによれば、団体旅行を行おうとする人が、インターネット上のウェブに、旅行先や旅行計画を登録することによって、旅行業者のお仕着せの団体旅行に応募して旅行する場合よりも、より旅行参加者の希望に沿った団体旅行を、安価にかつ高い自由度で実現することができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の団体旅行公募システムの構成を示すブロック図である。

【図2】

本発明の第1実施例である団体旅行公募システムによる団体旅行実現のプロセスを示すフローチャートである。

【図3】

本発明の第2実施例である団体旅行公募システムによる団体旅行実現のプロセスを示すフローチャートである。

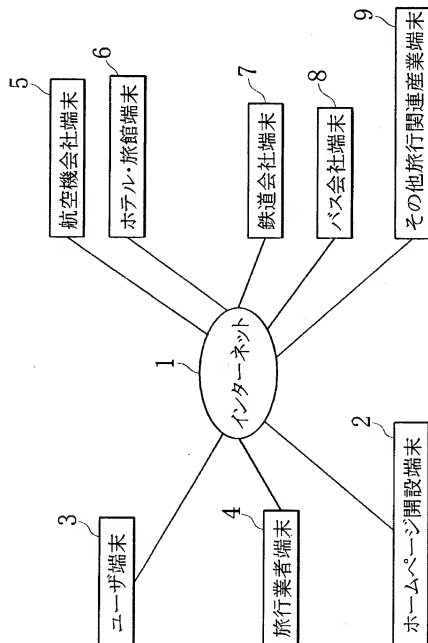
【符号の説明】

- 1 インターネット
- 2 ホームページ開設端末
- 3 ユーザ端末
- 4 旅行業者端末
- 5 航空会社端末
- 6 ホテル・旅館端末
- 7 鉄道会社端末
- 8 バス会社端末
- 9 その他旅行関連産業端末

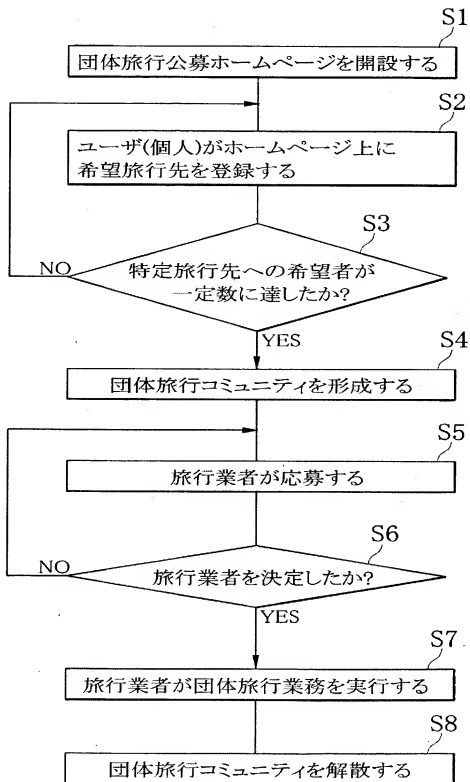
【書類名】

図面

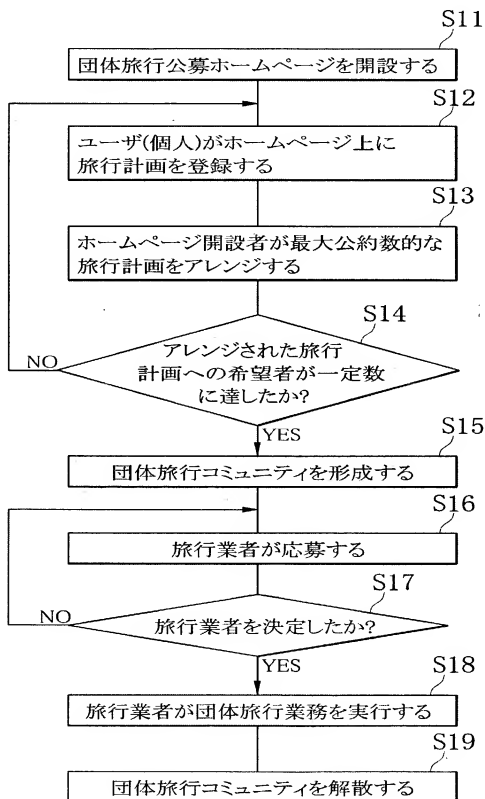
【図1】



【図2】



【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットを利用して旅行計画を公募することによって、より低廉で自由度の高い団体旅行を実現するための団体旅行公募システムを提案する。

【解決手段】 開示される団体旅行公募システムでは、団体旅行公募システムの運営者が、ホームページ開設端末2から、インターネット1のサイト上に開設したホームページに、ユーザ端末3における旅行希望者が、希望する旅行先や旅行計画を登録すると、団体旅行公募システムの運営者が、ホームページ上にある旅行先や旅行計画を共通にする複数の旅行希望者をとりまとめて一時的な団体旅行コミュニティを形成するので、旅行業者がこの団体旅行コミュニティの団体旅行を請け負うことによって、所望の団体旅行が実現される。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社